

# 防災かわら版

第4号

2018年1月吉日発行

## 大切な人と繋がろう

年頭のご挨拶

代表 大塚 徹

新春を御慶び申しあげます。

昨年は幸いにも大きな災害がありませんでしたが、この頃の低温多雪にその片鱗も見え隠れ

します。本来の恐ろしさは

現時期のやはり厳寒期災害対策です。

災害がどんな種類でさえあれ

帯広十勝のシバレが命を奪います。

特に今年は、10年周期と言われる

十勝釧路沖地震、最早

十数年来るぞの

十分な心構えが

必要でしょう。

イザというときの

会員の皆様の益々の

災害知識・技術向上と

本年のご多幸をお祈り致します。

### 平成29年度 活動実績 (4月~12月迄)

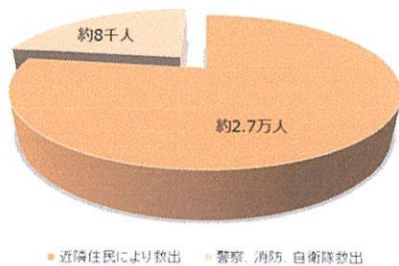
数	月	日	活動実績	場所	備考
1	6	1	全体会議	十勝振興局	2名参加
2	8	11	社協フェスタ・わいわいタウン帯広	グリーンプラザ	5名参加
3	8	29	H29年度 北海道防災総合訓練	道庁危機管理センター	2名参加
4	9	3	帯広市 地域防災訓練	帯広市立第一中学校	10名参加
5	9	4	浦幌町子育てサークル「にじいろスイッチ」	保健福祉センター	2名参加
6	9	10	ホコテン	帯広市西2条9丁目	13名参加
7	9	19	音更町 木野東小学校防災授業	木野東小学校	2名参加
8	9	21	真宗協会 危機管理対応研修	帯広の森コミセン	5名参加
9	10	6	H29年度 陸別町総合防災訓練	陸別町保健福祉センター	3名参加
10	10	8	崇教真光 防災講話・避難訓練	崇教真光中道場	200名参加
11	10	15	崇教真光 防災講話・避難訓練	崇教真光准道場	150名参加
12	10	20	H29年 防災講話	帯広柏葉高等学校	1名参加
13	10	29	音更町 防災講話	音更町北蘭老人憩いの家	2名参加
14	11	19	幕別町 札内北区防災訓練	札内北区コミセン	6名参加
15	11	22	北海道市立高校事務長会議・防災訓練	日航ホテル	7名参加
16	12	7	豊頃町「茂岩栄町行政区」防災講話	豊頃町福祉センター	2名参加
17	12	18	帯広市立緑園中学校防災訓練	帯広市立緑園中学校	6名参加
18	12	23	寺子屋のつどい	禅林寺別院	2名参加
19					



## 基本は耐震化と「自助」「共助」です！

阪神・淡路大震災は、とくに建物の耐震性を強化することが、地震防災の柱になることがクローズアップされました。建物が倒壊すると、倒壊した建物が道路をふさいで、救助・救援避難の妨げとなり、消防・救急車両が通れなくなり、また倒壊家屋は、火災が発生すると燃えやすく、延焼の危険性が大きくなります。家屋の耐震化は、個人の問題以上にまちづくりの課題になりました。

地域防災の観点では、阪神・淡路大震災のもっとも重要な教訓のひとつとして、「共助」があげられます。家屋の倒壊により閉じ込められた人の約八割が「公助」（警察や消防、自衛隊による救助）ではなく、家族や近所の住民によって救出されたのです。



発災直後の人命救助や初期の消火活動では、近隣住民の協力「共助」が大きな役割を果たしました。阪神・淡路大震災を機に耐震化・耐震補助などによる災害への備え「自助」ともに共助（そして「共助」のためのコミュニティづくり）が地域防災の基本になりました。

### 私の防災減災

### 「備えはいのちを繋げます」

研修部 安田愛子

自然は、前ぶれもなく、時折私たちに大きな試練を与えます。日頃から災害に対処しなければならない事を家族みんなで考えておかなければなりません。いざという時に備えて、集合場所、非常持ち出し品の置き場所、携帯電話やメールでの連絡方法などを確認しておけば家族の安心感信頼感も持てるでしょう。決めた事を、リビングなどに貼っておくのも良いでしょう。

また、寝室には懐中電灯、靴（飛散物を踏まないため）水、笛（居場所を知らせるため）45ℓの透明の袋（火災時に煙を吸わないよう空気を入れて被る）など、最低限のグッズを枕元に用意しておきましょう。子どもには、常日頃正しい防災知識を「すり込み」で教えましょう。結果がすぐ出なくても、災害に遭遇した時には速やかに行動をとるでしょう。災害時は、公助をあてにせず、日頃から「向こう三軒両隣」顔の見えるお付き合いをし、「自助・公助」のつながりを大切にしておくことが必要です。



### おくやみ

平成二十八年より副代表としてご活躍されました宮内隆一様には長らく病氣療養中のところ十一月二十四日御逝去されました。謹んで心よりご冥福をお祈り申しあげます。

合掌

### \*\*\*研修部\*\*\*

会員のみなさまに於かれましてはご健勝でお過ごしのことと申します。

お蔭様で「かわら版」も第4号を発行する運びとなりました。記事の内容につきましては、今後、皆様からのご投稿・ご意見・情報等を載せ充実した紙面づくりをめざそうと思っております。

（防災に関する俳句・川柳等もお寄せください。）

本年もご協力くださいますよう

宜しく願いたします。

花ことば

幸せを招く

